

きほく通信

第100号
令和6年
10月7日
発行

難病
患者家族会
きほく

【会長】神森 和子
紀の川市中三谷
【相談室】080-7456-4940
【事務局】〒649-6612 紀の川市北涌371
森田方 TEL 080-7456-4940



小きな患者会の交流会

今年の春に交流会を再開したパーキンソン病友の会和歌山市支部が岩出市のカラオケボックスで開催されました。

会員の何人かがりハビリがあるということで10人ほどの小さな交流会でしたが、会場が神森会長の自宅近くでもあることから、事務局の森田が紀の川市難病患者家族会きほくの神森会長とあっちゃんを誘って参加しました。



神森会長には最近つとに体調を崩されているご自分の病気のことや、あっちゃんのことを話してもらいました。参加者からは「いいお話で感動しました」と言っていたが、なかには個人的に神森会長とお話をされる方もいらっしやいました。

会場がカラオケ店ということもあり、歌える参加者は好みの曲を歌ってくれました。

ちなみに神森会長から無沙汰をしている私のことを心配する手紙をもらっていたので、先日、到来物のゴーヤを持っていききました。

するとあっちゃんから「ゴーヤを見てると何か描きたいなあー」と思っていて、でも描けるかどうか分からないので、試し描きしてみました」とゴーヤの絵をいただきました



5年ぶりの署名活動

した。さすがあっちゃん、素晴らしい絵に仕上がっていました。この絵を見た知り合いから「ホンモノや」との感想をいただきました。

和歌山県難病団体連絡協議会が5年ぶりにJR和歌山駅前において国会請願署名活動を行いました。

会員13名（きほくから3名）が参加し、多くの方々に署名と募金のご協力をいただきました。

10月とはいえ暑い陽ざしのなか、皆さん汗びっしょりになりながら大きな声で署名・募金を呼びかけました。

和歌山県難病連の発表では署名数52筆、募金20,579円でした。

お忙しいなか足を止め署名や募金にご協力いただいた皆さまには感謝しかありません。

なかには、全国信用組合中央協会が実施している「小さな助け合いの物語賞」で「あたたかな小さい手のリレー」が大賞受賞し、その後絵本「バスが来ましたよ」（アリス館）が出版され

10月5日 JR和歌山駅前



全国的に有名になった山崎浩敬さん（写真2段目左）が息子さんと夫婦と偶然通りかかって署名してくださいました。



皆さまご協力ありがとうございました。



きほく通信が記念の100号を迎えました。きほく通信第1号は平成18年11月27日に発行され、拙い紙面ではありましたが数々の情報を発信してきました。ちなみに第1号にも国会請願署名活動の記事を載せていました。郵便費の値上げもあり、現状では予算的に次号を発行できるかは厳しいものがあります。とりえずひと区切りとさせていただきます。長くご覧いただきありがとうございます。感謝